

2 1	西 尾	西尾小学校	スミヤ イマミ 氏名 角谷今麻美
分科会番号	1 9	分科会名	読書・学校図書館

研究題目

学校図書館を活用した主体的に学ぶ力の育成

～第3学年国語科「道具のひみつをつたえよう」の実践を通して～

1 はじめに

西尾市教育研究会学校図書館部会では、令和7年度の研究テーマを「豊かな心を育む学校図書館～学校司書と連携した学習づくり～」として研究を進めてきた。良書に親しみ、意欲的に読む子を育てることや、子供たちが的確に情報を処理し、生涯にわたり学び続ける能力の基礎を育成することなどをねらいとしている。また、司書教諭（図書館担当者）と学校司書との連携を生かした授業の在り方を模索するとともに、市図書館とも連携をとりながら、授業に生かされる資料の収集に努め、子供も教師も活用できる図書館づくりを目指している。

学習指導要領では、子供たちが必要な情報を主体的に収集・整理し、活用する力を育成することが求められている。本実践では、学校司書と連携して学校図書館の学習センターとしての機能を生かし、子供たちが主体的に学び、相手意識をもって伝える学習活動を通して、情報活用能力の育成を図る授業の在り方について検討した。

2 研究の内容

（1）子供の姿

3年生の本学級の子供たちは、好奇心旺盛で、何事にも前向きに取り組む姿がある。本を読んだり、生き物について調べたりすることが好きな子も多く、学習に関係する本を教室に置くと、空き時間に進んで読む姿が見られた。

国語科「給食だよりを読み比べよう」の学習では、本校の食育だよりに掲載するとよいことについて調べ、栄養教諭に提案をした。関係する本を学校図書館司書に紹介してもらうことで、本を活用して調べたい内容について必要な情報を得ることができた子もいた。子供たちは、情報収集のために本やインターネットを活用することのよさや面白さを感じることができた。一方で、どの本を選定し、どのような情報を得たらよいか迷ってしまう姿があった。

（2）教師の願い

本単元では、本やインターネットを活用することによって、疑問が解決したり、新しい世界に触れて自分の興味が広がったりする楽しさを味わわせたい。また、道具の秘密について調べてまとめる活動を通して、収集した情報を要約したり、分類したりする力を育みたい。そして、驚きの情報を知った喜びや感動を伝えたいという思いをもとに、レポートに書いて表現する力を育てたい。これらの活動に対して、主体的に取り組める姿を期待する。

(3) 単元観

導入部分では、子供たちが毎日使っている鉛筆についての秘密を紹介する。鉛筆の歴史や作り方についてクイズをしたり、資料を見せたりすることで、普段使っている道具にも秘密がありそうだという好奇心を喚起し、調べる活動に入っていく。同時に楽しみながら、主体的に調べる環境を整えるために、学校図書館司書による本の準備や、パスファインダーの提示、ブックトークを取り入れる。深める段階では、調べたことをカードに書いたり、タブレットのカメラで記録したりする活動を取り入れ、集めた情報を整理してレポートにまとめる活動を行う。単元の最後には、伝える楽しさを実感するために、作成したレポートを使って見つけた秘密を発表する「聞いて聞いて！道具のひみつ発表会」を行う。

(4) 単元構想（11時間完了）

	〈単元前の子供の姿〉 ・自分の興味のある内容や目的に合う本を探し、進んで読もうとしている。 ・本やインターネットを活用し、必要な情報を集めることができるようになってきている。												
出会う	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="244 772 1098 824">単 元 の 流 れ</th><th data-bbox="1098 772 1453 824">教師の手立て</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="244 824 1098 1120"> ○聞いて聞いて！○○の秘密（1）①② ・○○には、どんな秘密があるのかな。 ・○○の秘密、知らなくてびっくりしたよ。 ・調べた秘密はレポートにまとめるんだね。 ・秘密が見つかったら誰に教えてあげようかな。 道具の秘密を調べて、教えてあげたいな。 </td><td data-bbox="1098 824 1453 1120"> ①道具の秘密に興味をもつことができるように、関係する本を事前に教室に置き、自由に閲覧できるようにする。 ②道具の秘密への関心を高めるために、子供たちが知らない鉛筆についての情報（秘密）を紹介する。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="244 1120 1098 1198"> ○○の秘密を調べてレポートに書こう </td><td data-bbox="1098 1120 1453 1198"></td></tr> <tr> <td data-bbox="164 1198 244 1299">深める</td><td data-bbox="244 1198 1453 1299"> 身の回りの道具の秘密を調べよう。 ○調べるものを決めよう（2）①②③④ ・どの道具を調べようかな。本で探してみよう。 ・何を調べたらよいのかな。秘密だから、みんなが知らなくて、びっくりすることがいいね。 ・いつ、だれが発明したか、どうして作られたのか、どんなふうで作られたかを調べたいな。 </td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="244 1299 1453 2018"> ○道具の秘密についての情報を集めよう（3）③④⑤⑥ ・調べるコツを司書さんに聞いてみよう。 ・道具の図鑑だけでなく、百科事典も使えるんだね。 ・目次や索引を使うと調べやすいんだね。 ・調べて分かった情報をメモしよう。大事な文をカードに書いておくと、後で整理しやすいね。 ・絵や図もあると分かりやすいから写真で記録しておくよ。 ・たくさん情報が集まったね。どれをレポートに書こうかな。 ○情報を整理してレポートを書こう（3）③⑥⑦ </td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="244 2018 1453 2018"> ③調べる内容を明確にするために、調べる観点（歴史、作り方、仕組み、驚いたこと）を示す。 ④調べる環境を整えるために、学校図書館司書による本の準備や、調べ方の説明、パスファインダーの提示、ブックトークを取り入れる。 ⑤全員が主体的に情報収集することができるように、学校図書館司書と連携を図り、個に応じて本を探す支援や調べ方 </td></tr> </tbody> </table>	単 元 の 流 れ	教師の手立て	○聞いて聞いて！○○の秘密（1）①② ・○○には、どんな秘密があるのかな。 ・○○の秘密、知らなくてびっくりしたよ。 ・調べた秘密はレポートにまとめるんだね。 ・秘密が見つかったら誰に教えてあげようかな。 道具の秘密を調べて、教えてあげたいな。	①道具の秘密に興味をもつことができるように、関係する本を事前に教室に置き、自由に閲覧できるようにする。 ②道具の秘密への関心を高めるために、子供たちが知らない鉛筆についての情報（秘密）を紹介する。	○○の秘密を調べてレポートに書こう		深める	身の回りの道具の秘密を調べよう。 ○調べるものを決めよう（2）①②③④ ・どの道具を調べようかな。本で探してみよう。 ・何を調べたらよいのかな。秘密だから、みんなが知らなくて、びっくりすることがいいね。 ・いつ、だれが発明したか、どうして作られたのか、どんなふうで作られたかを調べたいな。	○道具の秘密についての情報を集めよう（3）③④⑤⑥ ・調べるコツを司書さんに聞いてみよう。 ・道具の図鑑だけでなく、百科事典も使えるんだね。 ・目次や索引を使うと調べやすいんだね。 ・調べて分かった情報をメモしよう。大事な文をカードに書いておくと、後で整理しやすいね。 ・絵や図もあると分かりやすいから写真で記録しておくよ。 ・たくさん情報が集まったね。どれをレポートに書こうかな。 ○情報を整理してレポートを書こう（3）③⑥⑦		③調べる内容を明確にするために、調べる観点（歴史、作り方、仕組み、驚いたこと）を示す。 ④調べる環境を整えるために、学校図書館司書による本の準備や、調べ方の説明、パスファインダーの提示、ブックトークを取り入れる。 ⑤全員が主体的に情報収集することができるように、学校図書館司書と連携を図り、個に応じて本を探す支援や調べ方	
単 元 の 流 れ	教師の手立て												
○聞いて聞いて！○○の秘密（1）①② ・○○には、どんな秘密があるのかな。 ・○○の秘密、知らなくてびっくりしたよ。 ・調べた秘密はレポートにまとめるんだね。 ・秘密が見つかったら誰に教えてあげようかな。 道具の秘密を調べて、教えてあげたいな。	①道具の秘密に興味をもつことができるように、関係する本を事前に教室に置き、自由に閲覧できるようにする。 ②道具の秘密への関心を高めるために、子供たちが知らない鉛筆についての情報（秘密）を紹介する。												
○○の秘密を調べてレポートに書こう													
深める	身の回りの道具の秘密を調べよう。 ○調べるものを決めよう（2）①②③④ ・どの道具を調べようかな。本で探してみよう。 ・何を調べたらよいのかな。秘密だから、みんなが知らなくて、びっくりすることがいいね。 ・いつ、だれが発明したか、どうして作られたのか、どんなふうで作られたかを調べたいな。												
○道具の秘密についての情報を集めよう（3）③④⑤⑥ ・調べるコツを司書さんに聞いてみよう。 ・道具の図鑑だけでなく、百科事典も使えるんだね。 ・目次や索引を使うと調べやすいんだね。 ・調べて分かった情報をメモしよう。大事な文をカードに書いておくと、後で整理しやすいね。 ・絵や図もあると分かりやすいから写真で記録しておくよ。 ・たくさん情報が集まったね。どれをレポートに書こうかな。 ○情報を整理してレポートを書こう（3）③⑥⑦													
③調べる内容を明確にするために、調べる観点（歴史、作り方、仕組み、驚いたこと）を示す。 ④調べる環境を整えるために、学校図書館司書による本の準備や、調べ方の説明、パスファインダーの提示、ブックトークを取り入れる。 ⑤全員が主体的に情報収集することができるように、学校図書館司書と連携を図り、個に応じて本を探す支援や調べ方													

- ・みんなが知らない秘密を書きたいな。情報を整理しよう。
- ・レポートの組み立てを考えて書くよ。タイトルも付けよう。

レポートが完成したよ。〇〇に伝えよう。

〇「聞いて聞いて！道具のひみつ発表会」で伝えよう（２）⑦

- ・身の回りの道具について、いろいろな情報を知ることができて、面白かったよ。情報を整理して伝えることができたよ。
- ・新しい発見がたくさんあって楽しかったね。もっと調べたいな。

これから知りたいことを調べて整理してまとめていきたい。

の助言を行う。

⑥情報をメモしたり、整理したりするために、カードを準備する。

⑦主体的に調べたり、まとめたりできるように、道具の秘密発表会を設定する。

〈単元後の子供の姿〉

- ・本やインターネットの活用により、疑問が解決したり、新しい世界に触れて自分の興味が広がったりする楽しさを味わい、主体的に取り組むことができた。
- ・必要な情報を集め、整理し、レポートにまとめることができた。

3 具体的な実践について

（１）学校司書と連携した主体的に調べる環境づくり

①選書とブックトーク

学校司書と事前に打ち合わせを行い、「道具のひみつをつたえよう」の学習に関連する図書を選書した。また、子供たちが興味をもち、目的をもって調べ学習に取り組めるように、ブックトークを実施した。その際、学校司書に調べ方についての簡単な説明もしてもらった。ブックトークを実施したことで、紹介した本に興味をもった子が多かったのはもちろんであるが、目的に合った本を見付けたり、他の道具に興味をもち、調べる対象が変わったりした子もいた。

②パスファインダーの作成

子供たちが自ら必要な資料を見付けられるよう、学校司書がパスファインダーを作成し、全員に配付した（資料１）。パスファインダーには、関連図書だけでなく、調べ学習に活用できるインターネットサイトの二次元コードも掲載した（資料２）。構成についても学校司書と検討を重ね、子供たちが本やインターネット上の情報に主体的にたどり着けるように工夫した。

③調べ学習における観点の提示

調べ学習の際に、何を調べたらよいかを明確にするために、調べ学習における観点とし

【資料１】学校司書が作成したパスファインダー



【資料２】二次元コードを掲載



て、「道具が発明されてから現在までの歴史」「道具の種類、材料、仕組み」「秘密とは何か（みんなが知らないことや驚くこと）」を提示した（資料3）。目的を明確にすることで、必要な情報を意識して収集・整理することができ、主体的な学びにつながった。

これらの手立てにより、子供たちは自ら進んで図書を手に取り、必要な情報を探そうとする姿が多く見られた（資料4）。また、パスファインダーを手がかりに、複数の資料を比較しながら調べる姿もうかがえた。

（2）個に応じた支援

①情報カードの工夫

調べ学習では、自分が調べた情報をのちに整理することができるように、また集めた情報が増えていくことを実感できるように、調べた情報1つに対して、情報カードを1枚書くようにした（資料5）。調べたカードが増えるたびに、カードを並べて自慢する子供の姿から、調べる意欲の高まりを感じた。本の情報で写真や図について必要な部分は、タブレットを活用して写真を撮るように伝えた。

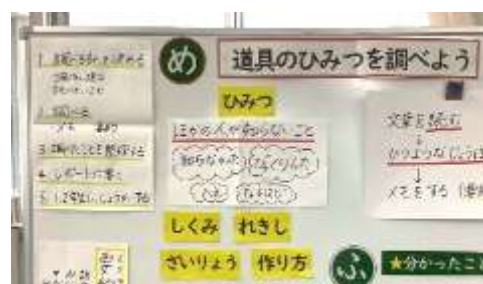
また、活用した本をいつでも再確認することができるように、本の表紙も写真で撮るように助言した。レポートにまとめる際に、参考資料として提示することが必要となる情報であり、確実に記録するために有効であった。

②個に寄り添った支援

全員が情報収集できるように、調べたい内容にたどり着けずに戸惑っている子に対して、教師や学校司書が寄り添って支援を行うようにした（資料6）。どの子が何について調べているのかを学校司書が把握できるように、教師と学校司書とで何度か情報を共有し、授業準備を行ったことで、その子に合った本を勧めたり、調べた方について助言したりすることができた。

これらの支援により、情報の収集・整理に課題があった子も、必要な内容を選び取ってまとめることができるようになった。また、個別の助言を受けることで、自信をもち、ほとんどの子が自分なりの方法で情報を集め、整理し、レポートを完成させるこ

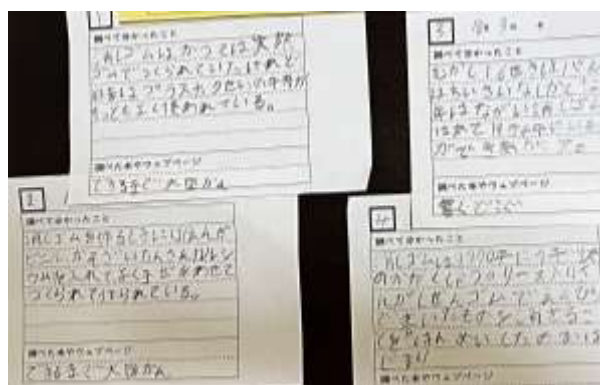
【資料3】調べる視点の提示



【資料4】子供の振り返りの記述

わたしは、初めてパスファインダーを知って、調べたいことがのっていて、その本で調べてちゃんと知れたので、パスファインダーはすごいと思いました。

【資料5】情報カード



【資料6】個に寄り添う学校司書



とができた。結果として、達成感や自信の高まりが見られた（資料7）。

【資料7】完成したレポートと振り返りの記述

消しゴムのひみつ

3年 4組

1 調べた理由
昔は消しゴムのかわりに何を使っていたのかと思ったので、消しゴムについて調べてみました。

2 調べ方
図書室で、道具のいろいろなことがのっている本を見て調べました。

3 調べて分かったこと
(1) 消しゴムのれきし
昔は消しゴムのかわりに、パンが使われていましたが、1770年にイギリスのジョゼフ・ペリーストリーが、えん筆でかいた文字をゴムでこすると消えることを発見しました。まもなく1772年に、イギリスで「世かいで」はじめて、消しゴムが発売されました。
(2) 消しゴムはなぜ「字」を消せるか
紙にえん筆でかかれた線は、えん筆の黒えんのかきつぶが紙にのっているだけで、そのつぶを消しゴムがくっ

- 9/29 調べることが決まったので、次調べるときにがんばりたいです。
- 9/30 本で調べるときは、もくじ、見出し、さくいん、パスファインダーを使うといいことが分かってよかったなと思いました。
- 10/2 調べて分かったことは、むかしは消しゴムのかわりにパンを使っていたことです。
- 12/17 発表するときにとどきどきしたけど、大きな声で2年生の方を見て発表ができました。あと、調べることが難しかったけど、2年生が楽しそうな顔で見てくれてうれしかったです。本で調べたり、レポートの書き方が分かりました。

(3) 伝える活動の充実

①相手を意識した発表

調べる活動に入る前に、調べたことをどうしたいかについて話し合った。子供たちの多くは、低学年に教えたいという思いをもっていた。そこで、低学年に道具の秘密を伝えることを目的とした。この日の子供の振り返りには、「一生懸命調べ」て「一年生と二年生に教えてあげたい」という思いが書かれ（資料8）、その後の調べ活動にも主体的に取り組む姿が見られた。その後、調べた情報を整理し、レポートを作成した。そして、完成したレポートをもとに実際にどのように伝えとよいかについて話し合った。分かりやすく伝えるために、イラストや写真を見せて伝えたいという意見から、タブレットを活用してテレビに資料を映して発表することにした。子供たちは、必要な写真を映したり、クイズを取り入れることで、聞き手が興味をもてるように工夫した。

【資料8】振り返りの記述

○1、2年生に教えてあげたいという思い

9/29 (月) 今日は調べることが決められたのでこれから10月まで国語でいろいろな調べたりせよと、さくさくの今と昔の時の道具に一年生と二年生に教えてあげたいです。

○聞き手を意識して話す姿と聞いてもらったうれしさ

12/17 今日道具のひみつの発表会をしました。発表会でがんばった事は大きな声でみんなの方を向きながら読みました。ぼくは聞いてもらってうれしかったです。

②友達同士で行うリハーサル

低学年への発表の前に、学級内でリハーサルを行い、伝え方について助言し合う時間を設けた。提示するイラストや文字の見やすさや、話す内容と提示資料のタイミング、話す内容や話す速さ、声の大きさなどについて、アドバイスし合う姿があった。子供たちは、

相手意識をもちながら発表内容や話し方を改善することができた。

リハーサルを通して、単に調べた情報を伝えるだけでなく、「どうすれば分かりやすく伝わるか」を意識して内容を考える姿が見られた。実際の発表では、クイズや提示資料を取り入れることで、聞き手の反応を見ながら、発表する姿が見られた（資料9）。発表後の振り返りには、「大きな声でみんなの方を向きながら」や「聞いてもらえてうれしいな」という記述があり、相手を意識して発表できたことや、聞いてもらえたことへのうれしさが分かった（前項資料8）。

【資料9】発表の様子



4 成果と課題

（1）成果

学校司書と連携して選書やブックトーク、パスファインダーを活用したことで、子供たちは目的に応じて資料を選び、主体的に調べていく姿が多く見られた。図書とインターネットの双方を活用しながら必要な情報を収集・整理することで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができた。

また、子供たち自ら低学年に伝えるという目的を設定したことで、相手意識をもち、提示物やクイズなどを工夫して発表することができた。リハーサルを通して、友達と助言し合うことで、より分かりやすく伝えようとする意識が高まり、伝える楽しさや達成感を味わう姿が見られた。

さらに、教師と学校司書が連携し、子供たち一人一人に応じた支援を行ったことで、自信をもって調べ学習や発表に取り組むことができた子が多かった。本実践を通して、学校図書館を活用する力や情報を活用する力、相手に分かりやすく伝える力、主体的に学ぶ力の育成につながったと考える。これらの取り組みを通して、学校司書と協働して作成したパスファインダーは、子供たちが主体的に資料を選択し、情報を収集するための有効な支援となった。

（2）課題

子供たちが必要な情報を収集する力は育ってきたが、複数の資料を比較したり、関連付けたりして情報を整理する力、自分の言葉でまとめる力には、個人差が見られた。今後は、情報を取捨選択したり要約したりする活動を継続的に取り入れ、情報活用能力のさらなる育成を図りたい。また、学校図書館の活用を国語科だけでなく、他教科や総合的な学習の時間にも広げ、学校司書との連携を継続することで、子供たちが主体的に学び続ける力を育成していきたい。

5 おわりに

本実践では、学校司書と連携し、学校図書館を活用した調べ学習を通して、子供たちが主体的に情報を収集・整理し、相手意識をもって伝える力を育むことができた。今後も学校司書との連携を生かし、学校図書館を活用し、一人一人が主体的に学び続けることのできる授業づくりを進めていきたい。